

---

◎議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡辺文彦君） 日程第5、議案第38号 令和2年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第38号 令和2年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定についてでございます。詳細は担当課長より申し上げます。

（企画観光課長 深澤準弥君 提案理由説明）

○議長（渡辺文彦君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○6番（高柳孝博君） 19ページの振興公社の委託費の明細書のところで、臨時パートの方・・・これはでも休業多くつくものですから、パートの方は非常に大変だったと思います。減った方達に手当ってのは、例えば失業手当みたいななにかそういうのでカバーできているのかどうか、それが一点。10ページのところのキャッシュフローが今出てますけれど、1億円を借り入れてやっているわけですけど、これキャッシュフローってのは、これ適正なキャッシュフローと見て大丈夫なんでしょうか。それが二点目。あと休業が結構多かったわけですね、今回ね。そうするとまあどうしても従業員の方もモラルっていうか、お客さん来ていただければ頑張るんだけど、お客さんいなくなってしまうとどうしても士気が上がりにくいと思うんですが、その辺りをどのようにカバーしてあげられたのかこと。その三点をお願いします。

○企画観光課長（深澤準弥君） まず一つ目の質問ですけれども、休業時の職員の手当につきましては一応給料の70%を保障したというような状況でございます。二つ目の通帳残高につきましてはですけれども、1億円お借りして今回5,200万強ということで残っておりますけれども、決して楽観できるところではございませんが、今後のコロナの収束を目指しつつ、ウィズコロナでも来るお客さん達にサービスをちゃんと提供しつつ、進めていけるような形をとっていけば、この金額であれば来年度っていうか今年度ですね、令和3年度についてはとりあえず運営については支障なくやるというような金額でございます。三つ目はですね、モチベーションの関係だと思っておりますけれども、職員の方もまつぎ荘自体が町の

中の基幹的な施設であるということをちょっと分かってもらおうと思って、休業しているときもですね、職員では柵田の手伝いに行ったり、桜葉の収穫に行っていたり、自分達の施設の周りを綺麗にするとかというようなことで、とりあえず普段中々携われないような事業を体験してもらいつつ、気持ちを高めていってもらうようなことで活動はしていたということでございます。

○6番（高柳孝博君） 公営企業ということで、コロナの方の救済が使えないということで、非常に苦しいんだと思いますけれど、お隣の町では固定費のマックスで1,000万っていうのを出すようなこと言ってますし、これ公営なんで仕方がないんですけど、コロナに対する救済っていうかそういうのは全然望めなくて、今後もやはりこういう厳しいときでも自前でやらなければならないのかな。なんかその国とかなんかで、例えば交付金のところで需用費として認めてもらえるとかそういうのはないんでしょうか。

○企画観光課長（深澤準弥君） 今おっしゃるとおり公営ということで、いわゆる一般的な事業者支援金等々は貰えなかったんですが、先日皆さんにもお話をさせていただいて、補正予算の中で町からの補助金という形でその保障をさせていただきました。その部分につきましては、一応国の交付金を充てるような方向で今進めておりますので、そういった意味ではなんとかそういうものを活用させていただいて、動いているような状況でございます。

○1番（田中道源君） 私は、19ページの報償費の中の手数料カードのところちょっと質問させていただきたいなと思うんですけども、私は委員会の方に所属させていただいてるときから、クレジットカードによるインターネット上の決済について、導入したらどうかという話をさせていただいてますが、今現状どのように進んでいるのか教えていただけますか。

○企画観光課長（深澤準弥君） 田中議員は昨年度委員になっていただいて、数々の色々なご提案をいただきまして、酒の販売も含めてですけども、やっと動き出したような状況もございます。今ご指摘のカード決済につきましてもですね、先日も整備検討委員会があって、鈴木議員も出ていただいたりしたときに、雲見の観光協会長が、今時まだやってないのかというようなご指摘も受けましてですね、是非そういう方向で利用者さんの利便性を一番に考えるということが一つのおもてなしになるということで、今そういう方向で今会計上の処理の問題があるんですけども、そこについてはできないことではないので、

今は町としてはできる方向でやるべきということで、振興公社の方に働きかけをしている  
というような状況で出来れば早いうちにその対応ができるようにしたいというところでござ  
います。

○1番（田中道源君） 進んでいるということでは是非引き続きやっていただきたいんです  
けど、お酒の件のときもそうでしたが、とてもフットワークが重い、時間がかかるなってい  
うイメージがございます。これが何て言うんでしょう、先ほどの雲見の協会長の言葉じゃ  
ありませんけども、普通の旅館業であつたらばとても考えられないことだと思います。な  
ぜそういうことが当たり前になってるというか、野放しになってるかっていう原因がです  
ね、公営であるからそうなのか分かりませんが、私が委員会に出てる限りではです  
ね、そもそも責任負ってる方の動きってのは、中々本気度と言うんでしょうか、感じられ  
ないなっていうのは思っておりました。再三に渡ってですね、いろんな提案させていただ  
きましたけれども、会議の方に出席すればなんで議員が出てるんだという妨害があつた  
り、意見は求めてこられ、これがいいんじゃないかと提案したところで、なぜかそれに邪  
魔が入るっていうような体質もございました。もしですね、これが公営でやってるからこ  
そ、例えばコロナの補償受けられないし、休業手当も色々なことしなきゃいけないってこ  
とがあるのであれば、一度こういう点もですね、見直すというかいろんな方法を考える必要  
もあるんじゃないかなと思います。これは一つの提案でありますけども、今コロナで大変  
ですけども、収束した暁にはGotoキャンペーンっていうのがまだあると思います。去年  
もGotoキャンペーンが行われてたときは、ものすごい来ていただいて助かったという風  
に委員のとき聞いております。ですので、このGotoキャンペーンの時にいかにお客さん  
に来ていただくか、おもてなしするかってのは大事な点だと思いますので、ネット上で予  
約した人がそこで決済できるかできないかは、一つのこのおもてなしの一環だと思います  
ので、是非ですね、そこの収束の時にちゃんとそれができるような体制にはしていただき  
たいと思いますので、大変かと思いますが、民間では普通に迅速に動いてることだと  
思いますから、是非お願いしたいなと思います。いかがでしょうか。

○企画観光課長（深澤準弥君） 振興公社の方に指定管理ということで、委託してるとこ  
ろではございますが、今回先ほど申し上げました、いろんな手当を一般会計からの補助金  
という形で出したり、ましては1億円という高額な金額ですね、借り入れをさせていただ  
いてるというような状況から、いままで指定管理にお任せしていた監督的な町の立ち位置

であったんですけども、前日も委員会中でも話しさせていただいたとおり、町も1億円というお金をだしている責任もごございますので、一緒に提案をしていきたいということで振興公社の方にも申し入れをしたところでございます。是非そういった意味で何が阻害原因なのか、そういうものを把握しながらですね、是非ユーザーの主体というところで、色々な考えを起こしていきたいと思いますので、また色々ご指摘等あれば、またご意見いただければと思いますので、応援の方またお願いしたいと思います。

○3番（小林克己君） 17ページ営業外収益の補助金について伺います。2月の全協において、民間事業所であれば受け入れられた新型コロナウイルス感染症に係る支援金相当額っていうこのときのこの補助金、新型コロナウイルス臨時給付金を活用って形のこの金額で受けた説明のものでこれがあってるのか。このときの説明であれば、1,258万3千円を予定していたと思われま。15万4千円ぐらい少なくなっていますけども、少なくなった理由とこれであったのかってことで話を伺いたと思います。あと一つ、20ページ雑費の方でカラオケの賃借料のこの4万円は多分途中で解約ってか休止されて多分減ってると思います。この著作権使用料、著作権料、これたぶんJASRACにたぶん支払っているお金ではないかと思えます。これ多分年間の金額でしょうか。もしもあのカラオケを使用していないのであれば、これを止めて、また使用を開始の時にまた著作権料ってのが発生して払うことができるというJASRACの契約だったと思いますけども、この辺はこれ年間のやつでしょうか。伺いたと思います。

○企画観光課長（深澤準弥君） まず最初の宿泊施設の支援金につきましては、先ほど申し上げました通り一般のところ公営でなければもらえたであろう数字ということで、最終的に精査をきちんとしまして、従業員等の数も含めた中で、精査をした金額が1,242万9,294円となっております。二つ目の質問のカラオケの関係ですけど、カラオケの資機材を借りて、それに付随するものとして借連権料が入っておりますので、年間の金額でございます。

○3番（小林克己君） では、今カラオケの方は使用は多分されていないとこのコロナ渦なので、思われますけども、この著作権料は来年度は出ないって形でもよろしいでしょうか。

○企画観光課長（深澤準弥君） 一応はアフターコロナを見越して、そのままカラオケの方はございますので、持っている場合は著作権料かかってくるので、今後資機材を全部

返してしまって、何もやらないようってことであればかからないような状況でございます。

○5番（深澤 守君） 決算ということで今後の方針を含めてちょっと町長にお伺いしたいと思うんですけど、町長は2月の休館する前に、休館するときにはですね、サービス面だとかその他料理改善するっていうんですけど、言われたと思います。改善してきたから大丈夫だってことだったんですけど、一般質問のときにちょっとメニューについても伺って、時間がなかったもので明確な回答得られなかったんですが、今回メニュー改製したときにですね、町長まつぎき荘に泊まって是非食べていただきたいメニューってのは、推しのメニューってのはありますか。松崎独特のこのメニューだから松崎の宿舎に来たら是非食べていただきっていうメニューってのは開発されて、おすすめしたいってメニューは具体的にお話できますか。町長・・

○町長（長嶋精一君） 超ミクロな質問でございますが、非常に大事なことでございます。昨年から新しい料理人がね、入って来まして、彼が新しい料理を開発しております。その中で私も食べて美味しいなと思ったのは、やはり今までお刺身中心にやっていたものをイタリア風にアレンジして、それをやるとかいう料理はですね、非常に美味しかったわけでありまして。西海岸の方は魚が非常に豊富が取れます。今ですとイサキとかね、旬でございますして、それらをやはり今までのただ焼いたり、煮たり刺身でお出しするというよりも、もちろんそれもやるんですけども、イタリアンとかフランスの料理で提供するってことは非常にお客さんが喜ぶのではないかと。まつぎき荘が少し変わったなという風に思っていたくんじゃないかなと思います。是非、まだっていうか開業して休んでおりませんのでね、是非行って夕食を食べていただきたいなと思います。

○5番（深澤 守君） 今の回答聞いてですね、これびっくりする以外ないです。メニュー決めといて、イタリアン、フレンチ料理あれするからそれ食べてくれってそんなことあります。フレンチだったらフレンチで例えばスズキのプロヴァンス風なんか何とかこの料理を食べていただきたい。肉だったら例えば愛鷹牛の食べていただきたい。具体的な名前がでなければ誰が食べます。誰が来ます。メニューを変えたっておっしゃいましたけど、今まつぎき荘のインターネットの写真ご覧なられました。昔のメニュー出してあるんですよ。昔の。今メニュー変えて勧めるのであればインターネットに載せて、例えば松崎の取れたイサキがこういう風にして料理にした、誰が取ってきた、野菜も誰が取ってき

た、スープはこういう風にスープは取りましたってものを出して行かなきゃ誰が食べます。応接もそうだと思います。個別の話をするとまたですね、前のみたいにお前が言ったからまつぎ荘お客さんが来なくなったと言われると困りますので、個別の案件についてもしあの問い合わせがあるようだったら言いますけど。もっと町長、積極的に町長、理事長ならば、改革する必要はあると思いますけど、その点についていかがでしょうか。

○議長（渡辺文彦君） 町長お答えできますか。

○町長（長嶋精一君） 深澤議員が深澤議員に成り立ての頃、伊豆新聞に投書した自分が、自分ってのは深澤議員のことですが、郷土の食材を使って、松崎ならではの料理を作りたいと、それを広めていきたいとおっしゃいました。是非そういうことはですね、まつぎ荘に来てですね、教えていただきたいなと僕は切実に思います。私も理事長として関与しますが、是非議員の皆さんもこんなの作ったらどうだということで、ご意見ございましたら積極的にお願いしたいなと思います。私の意見は以上でございます。

○5番（深澤 守君） ほんとに前向きなご意見いただいたと思います。それと僕の感想ですけど、今まつぎ荘の改革ってのは振興公社が主体的になってないと。本来指定管理というのは指定管理業者がこういうことやりたい、ああゆうことをやりいからですから指定管理をまつぎ荘の運営をやらせてくださいってのが本来ですよ。だけど今の状態は、指定管理を受けてくれる人がいないから、まつぎ荘に対しては松崎町から指定管理をしている。この話はあべこべですよ。ですからもっと振興公社がまつぎ荘の職員は、主体的になって自分達が給料は自分達で稼ぐぐらいの勢いでやってかなきゃいけないと思うんですよ。先ほどモチベーションの話しましたが、ある人の話だと今まつぎ荘は、暇でお客さんが来なくて給料がもらえるからその方がいいっていう考え方を持っている人間もいるって話ですよ。そんなバカな話ありますか。普通お客さんが来なければ一生懸命働いて、お客さんが来るように努力しなければ自分達が給料もらえないから頑張んなきゃだめだよなって、感覚にならない自体がおかしいと思いますこれ。ですから、先ほど田中議員の方もおっしゃいましたが、やはり我々としても町を良くしたい、まつぎ荘を良くしたいという思いがありますので、是非我々が色々なことを言って口うるさいかもしれませんが、是非我々も積極的に建設的な意見を言ってくつもりでいますので、是非その辺は汲んでいただきたい。そして、まつぎ荘がほんとに一生懸命やれるような形で町長しっかりと指導して頂いて、経営改革をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 非常に前向きなご意見を頂きました。ありがとうございます。それを活かしてね、私も理事長としていろんな指導にあたってまいりたいと思います。皆さん方は特に議員でございますから、なんらかの委員会に出て発言するのもいいですけども、それに限らずね思った時にいつでもいいですけれど、こういう風にしたらどうだというようなことを支配人に話をするか、あるいは企画観光の方に話をするか、私でもいいですけども、どんどん話をしていただきたいと思います。それがプラスの方向に行くんであれば、私は望むところでございます。変革していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○1番（田中道源君） 今の深澤議員の質問にちょっと関連させていただきます。先ほど、私もちょっと話しましたが、町長色々提案しに来てくれということなんですけども、実際私が提案、声を聞いたものを提案しに会議に出席した際にですね、なんで来るんだと。なんで田中議員が会議に来ているんだということで、次から呼ばれなくなりました。まさに私は提案しに行ったんですけども、それを誰かが止めさせたという風に聞いております。今の料理のことについて、色々相談、教えてくれと言うわりにそれがちゃんとですね、機能すればいいんですけども、町長にとって都合の良いところだけをとるようなやり方でなくてですね、まつぎき荘にとって良いアイデアだという公平な目を持ってですね、進めていただきたいなと思います。それで先ほどの料理のことに関して言いますと、イタリアンの料理が美味しいということおっしゃってございましたけども、日頃町長が言ってるマーケットインの考え方とちょっと違うのかなと思いました。私の聞く市場調査というか、私が外から来て、来たお客様を招待してですね、まつぎき荘に泊まって、食事の感想を聞いた限りでは、ここでしか食べれないものとかが出て欲しいよと。そういう意味では今まで通りの刺身であったり焼き魚だったりするのはいいと思うんですけども、例えば松崎町で取れてないような魚が、ここに上がってくるのってのはちょっと違和感あるよねと。それより例えば、ここでしか取れないひじきが食べれたりとか、今日取れたイサキはいいと思いますけども、松崎ならではの感を出した方がいいんじゃないのと。またお刺身の出し方に関しても、個別に最初から置いてあって、ちょっとガビガビになってるようなのよりも、外から来てる人を求めているものってのは小ぶりでもいいから、舟盛りみたいな形で来るのをやっぱり期待してると思うから、そういう見せ方も大事なんじゃないのっていうようなこと言ってました。という町長が食べてですね、もちろん試食

は大事なんですけども、町長がイタリアンが美味しいと思ったから、イタリアンで行こうっていうんじゃなく、やはりそこはマーケットイン、まさにニーズというお客さんのニーズを拾っていただいて、メニューに反映して頂けた方がいいなって思います。なかなかです、言っても煙たがられる可能性がございますので、今ここで申させていただきますけれども、マーケットイン言葉のとおり実行していただきたいなと思いますが、町長いかがでしょうか。

○町長（長嶋精一君） これは2年度の松崎町の決算について話をしているわけでございます、料理の関係でね、これほど話が出るってのは思いもよりませでしたけれども、皆さん方のまつぎき荘に対する改革の熱情だと思って理解をしております。マーケットイン、ニーズを拾うということを非常に大事だと思ってます。私の信条です。またこれはね、料理のところってのは好みのものでありますから、いろんな料理のこういうのが良い、ああいうのが良いってのはお客様千差万別だと思えます。それを色々考えてね、やってまいりたいなという風に思えます。そして、いろんな委員会とかなんとかにこだわらずね、先ほど言ったとおり、こういう風にした方がいいんじゃないのかっていう風な話がございましたら、都度、まつぎき荘の支配人、副支配人、公社の局長、企画観光の課長、補佐そういった人にですね、話しかけてください。それで十分伝わると思えます。よろしくどうぞお願いいたします。

○7番（藤井 要君） 今ですね、田中議員の話を聞きまして、町長がですねそういう委員会等で出た議員に対してですね、なぜここにいるんだとかそんな話は初めて聞きましたけれども、これ由々しき問題だと思えますよ町長。みんなまつぎき荘のためにね、松崎のために一生懸命にやっているのをそんな排除するような発言はまずいと思えますよ。それからですね、町長のことですからね、今誰がやったって、なかなか厳しいと思えます。まつぎき荘経営。そういう中ですね、町長のことですから一週間に一ぺんか、二週間に一ぺん足を運んで激励もしているとは思えます。町長のことですからとちょっともう一度言いますけれども、あちこち行って名刺を配るだけが仕事じゃなく、まつぎき荘にですね、やっぱり色々のどうしたらいいのか、現状見たりとかして、そして、このまつぎき荘をなんとかする。そういう姿勢が先ほどの議員からの話を聞いていると、なんで来た。これでは中々良くないと思えますよ町長。町長先ほど二週間に一ぺんぐらい、一週間に一ぺんぐらいやってるのかもしれないですけどね、しっかりと、大変なことはわかります。誰がや

っても大変なのかもしれない。でも、町長昔から言っているように私がやればすぐ黒字になる。でもこのコロナ禍ではそういうわけにもいかない。それも認めます。でもですね、町長まつぎ荘の運営のために振興公社関係運営のためにですね、名刺配りよりもやっぱり現場主義者の町長ですので、しっかりとやってもらいたいなと思います。そして、これは私の形式っていうか違うかもしれませんが、今職員の方をまつぎ荘に集めていると、正職の方ですね。ほんとは分散してて、うまくやってもらえればいいと思いますけれども、正職の方は給料の関係費用かさまるわけですのでね、どういう、モチベーションを高めるという意味でやっているのかと思いますけれども。それとあと一点、今大体5,000万から6,000万ぐらいのキャッシュフローということですけども、去年の赤字が7,000万円ぐらい。約7,000万円。来年度のことですけども、それも心配ですけども、課長にしっかりとやってもらいたいなと。キャッシュフローの関係も心配です。町長と課長。課長の方はちょこっとで答弁よろしいのでお願いします。じゃあ町長から。

○町長（長嶋精一君） 藤井議員の町長が委員会出たのをなんでと言ったと。実態をちゃんと掴んで発言をしていただきたいなと。私はその場にもいないし、そういうこと言ったことはございませんのでね、たださっきから言ってるとおり、こういう風にしたいというご意見があったらどんどん何の委員会だになにの協議会だっていうことじゃなくて、どんどん話をしていただきたいなと思います。そして、名刺を配るのと、私は名刺を配ってるという印象はないんですけどね。やっぱりいろんな考えを聞きにその結果として名刺が配布されたということで。それについてこの場で言うつもりはないんですけども、その名刺の問題とまつぎ荘の問題はまったく別でございまして、まつぎ荘には自分なりに色々・・当然ですけども、情熱をかけてね、躍進をしていきたいなと思います。それには皆様のご意見も頂戴しながらね、やっていきたいなと思いますのでよろしく願いいたします。

○企画観光課長（深澤準弥君） 藤井議員からもご意見いただいたもんですから回答させていただきます。まつぎ荘につきましてやはりコロナ禍ということで今大変苦しい状況ではございますが、必ず、今ワクチンの接種も進んでおりますし、だいぶ皆さんの観光需要の機運は決してなくなっているものではないということで、是非その際に旅行先に選んでいただくような工夫と、やはり来た時にお客様にやっぱり喜んでいただくといった基本的なユーザー目線ということをしかりと職員の皆さんと共有しながらですね、お客さんを迎

えられるような施設になり、キャッシュフローの心配もないような状況にしていきたいと思いますので、またよろしくをお願いします。

○議長（渡辺文彦君） ただいまの議案は、まつざき荘の収入支出の決算の認定であります。今の議論は今後の事業計画等のかなり踏み込んだ話になったと思います。収支決算を求めに事業計画をとるってことは非常に大切ですから大変貴重な意見をいただいていると思いますけれども、だいぶ時間等押してきてますもので、具体的に収支決算についての質疑があれば、その辺をお受けたしたいと思いますけれどもいかがでしょうか。

○7番（藤井 要君） これはですね、色々関連があるから皆さんもそうなんですけどお話ししてるとおり、じゃあ過去に令和2年度の今決算のことやってますけど、令和2年度にどうしたことしたということ町長にも問いてるわけですよ。私も問いてるし、田中議員も問いてる、皆さんが深澤議員も問いてるわけですよ。魚の関係もこういうことをやってきたんだ。これは正解なのか、色々あるわけですけども、時間の関係もありますから手短かに言いますが、町長、先ほど私二週間に一ぺんぐらい町長やっぱり現場主義として令和2年度顔を出したよと。そして色々なアドバイスを送ったと思うんですよ。皆さんにですね、どんなアドバイスを送ったのかそれを聞いて私の質問はここで止めます。

○議長（渡辺文彦君） 町長お答えできますか。

○町長（長嶋精一君） お客様が望んでいるどこの観光地においても望んでいるのは良い病院がある、あるいは良い温泉があるか、良いおもてなしがあるかということこの三つが最低の条件だと私は感じております。その中で三拍子揃ったことをやるにはね、やはりそれぞれの職員が勉強しなきゃならないということは常に申し上げてございます。これでもう勉強は終わったってことではなくて、我々もそうですけれども、常に向上していくと。これが大事であろうという風に思います。それについてはいつでも職員には話をしております。以上でございます。

○2番（鈴木茂孝君） 町長にお伺いします。振興公社のトップとしまして、今回のこの決算をどう捉えているかということと先ほどのお話になってしまうんですけども、カード決済がされていない。そして、料理の写真が変わっていないということですけども、これはもうずっと前からその料理を変えていくよという話をされている中で、実は写真が変わってなかったというのを私も初めて知ったわけですけども、これについて改めてトップとしてどういう風に思っているのか。そして、次期ですね、来年度に向けましてどのよ

うな方針でどのような戦略でそしてどのくらいの例えば目標数字ですけども、宿泊利用率をどれぐらいにしていこうかとかっていうのはありましたら教えてください。

○町長（長嶋精一君） 理事長として、その新しいホームページが更新されてない料理も旧体以前としてあるということについては、理事長として大変申し訳なくお詫び申し上げます。以降については、よくチェックしましてね、やってまいりたいと思います。前期の決算は赤字の6,600万という大きな赤字でした。振り返りますと平成18年に新しいまつぎき荘ができたわけですけども、21年からリーマンショック等の影響でもって赤字が続きました。令和2年は6,600万。その18年から始まって21年頃からは4,500万の赤字。あるいは細かいこと覚えてませんが、その水準の赤字がかなり続きました。その時は非常に、まあ僕はいなかったんですけども、原因が分からないような赤字があったと思います。今回の場合は明らかにコロナというその特殊要因があります。だからいいと言ってるわけじゃございません。私はコロナというものが収束した暁には、必ずお客様は戻ってくると思います。これは期待だけじゃなくてね、そういう風に思ってます。したがってお客さんが来られた時にしっかりとしたおもてなしをするという風にことを指導してまいりたいなと思います。それから、平成3年度今季の予測については、検討はしておりますけど、この発表は控えたいと思います。以上です。

○2番（鈴木茂孝君） 目標は中々ねこれからコロナがどのようにになっていくかというので、結構左右されると思うので中々難しいと思いますが、先ほど言われました、しっかりとした接客であるとか、例えばこの前振興公社の支配人がおっしゃられた、松崎らしいおもてなしというような非常に曖昧な言葉というのが、なんかこう一人歩きしちゃってるんのか、じゃあ実際どういような接客がしっかりとした接客であるのか、どのようなものが松崎らしきなのか、ちょっとその辺が曖昧でなんとなくぼやけてて、その辺がしっかりとしないためにこうやってやるんだけど具体的な戦力ができてないよな気がするんですけども。例えばですね、今ちょっと私今考えてますのは、この7月に西伊豆町で新しいホテルができるんですけども、彼らはこのコロナでもチャンスだという風に話をしてるんですね。彼らが何に力を入れるかと言いますと朝食です。朝食で食べて帰っていただくということで最後に美味しいご飯を食べて帰ってもらうということで、またリピートしてくんじかないかと。そういうような戦略がありますので、例えば、まつぎき荘も日本一の朝ごはんであるとか日本一の朝食の海鮮の朝食みたいな形で、少しちょっと特徴をつけた名前

をPRしていきながらやると、そうするとその朝食はどんなもんだろうということでお客様が増えると。実際にですね、この日本一の朝食というのは新潟県でやってまして、かなりの誘客を誇ってきたと実績ありますので、そのような町長には具体的な戦略をもっていたきたいなという風に思います。松崎らしいですとか、しっかりとしたですとか、そういう曖昧な言葉ではなくて、きちんとした戦略を持っていたきたいなという風に思いますが、いかがでしょうか。

○議長（渡辺文彦君） ちょっと町長の発言の前に改めて申し上げます。収支決算の認定についてでありますもので、今まで一年間やってきた事業に対して、その事業と収支がどういう風な連動があるのかを中心に議論していただきたいと思います。それをもとにまた今後の事業令和3年度の事業展開がされると思いますので、その辺を中心に数字との絡みの中で議論させていただきたいと思いますが、よろしく願いいたします。

町長、鈴木議員の質問に答えられたら教えてください。

○町長（長嶋精一君） 貴重なご意見だと思います。鈴木議員が幅広くいろんなところから情報を集めてますけども、私どもの方で取り入れるところ、取り入れられないところもありますけれどもね、取り入れるところは取り入れていきたいなと思います。そして、しっかりやっているって表現じゃなくて、やっぱりだけど、深澤議員の時にも言いましたけど、松崎らしさってのはこれは抽象論か分かりませんが、それについては追求していきたいと思います。鈴木議員の意見は貴重なものとして捉えております。以上でございます。

（7番 藤井議員 質疑終了して・・・）

○議長（渡辺文彦君） 質疑終了の声がありますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渡辺文彦君） 異議なしと認めます。これにて質疑を終了したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渡辺文彦君） 異議なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（発言する者なし）

○議長（渡辺文彦君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

○1番（田中道源君） 私は今決算書の議案に対して賛成いたします。今日、あの質疑の中で、いろんなご意見等は出ました。要望と出ました。是非ですね、このまつぎ荘というのは松崎町にとって大事な大事な施設でございますので、今上がった意見等を真摯に受け止めていただき、より良い経営に努めていただくことを祈念いたしまして、今回のこの決算書の議案に対して賛成したいと思います。以上です。

○議長（渡辺文彦君） これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第38号 令和2年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（渡辺文彦君） 挙手全員であります。

よって本案は原案のとおり認定されました。 暫時休憩します。

（午前11時14分）

---